

政策目標	4	みんなで行動する環境の街						
重点課題	1	低炭素社会の推進と循環型社会の構築						
施策の基本方針								
<p>「環境首都・札幌」として、新たな温暖化対策推進計画を策定するとともに、原子力発電に依存しない社会を目指し、省エネルギーの推進や代替エネルギーとしての再生可能エネルギーの普及を進めるため、CO2見える化を推進するなど、市民や事業者が環境行動を実践するまちづくりを推進するほか、市有施設への再生可能エネルギー・省エネルギー機器の積極的導入を進めます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みを推進するとともに、生ごみ資源化など重点化した取り組みを行います。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 環境行動を実践するまちづくり								
	温暖化対策に関する実行計画策定・推進事業	9,000	819	2,617			3,436	38.2
	さっぽろエコライフ推進事業	31,000	5,604	7,200			12,804	41.3
	省エネ活動サポート事業	8,000	0	1,600			1,600	20.0
	札幌省エネアクションプログラム	36,000	0	18,000			18,000	50.0
	エコドライブ活動定着推進事業	8,000	1,512	2,300			3,812	47.7
	エネルギーに関する環境教育の推進	23,000	6,648	6,500			13,148	57.2
施策2 省エネルギー、再生可能エネルギーの更なる普及促進								
	札幌・エネルギーecoプロジェクト	187,000	30,909	108,653			139,562	74.6
	「札幌版次世代住宅基準」に適合した住宅の普及促進	200,000	0	26,500			26,500	13.3
	エコリフォーム促進事業	105,000	27,993	100,000			127,993	121.9
	次世代自動車導入促進事業	56,000	5,408	15,000			20,408	36.4
	地域エネルギーネットワーク推進事業	20,000	5,023	8,000			13,023	65.1
	札幌・サンサンプロジェクト事業	708,000	56,877	466,284			523,161	73.9
	学校施設太陽光パネル設置事業	3,259,000	375,487	697,320			1,072,807	32.9
	再生可能エネルギー推進事業	64,000	1,218	29,000			30,218	47.2
	木質バイオ燃料普及促進事業	100,000	0	9,600			9,600	9.6
	学校への木質バイオ燃料導入事業	—	0	511,192			511,192	—
	次世代エネルギーパーク推進事業	10,000	3,267	3,519			6,786	67.9
	市設街路灯LED化の推進	1,600,000	86,276	640,000			726,276	45.4
	下水道事業における地球温暖化対策	7,309,000	1,483,419	971,000			2,454,419	33.6
施策3 みんなで進めるごみ排出量の抑制とリサイクルの推進								
	一般廃棄物処理基本計画の改定	20,000	0	9,300			9,300	46.5
	生ごみ資源化システム実証実験	47,000	6,242	5,600			11,842	25.2
	家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業	63,000	14,700	15,980			30,680	48.7
	事業ごみエリア内資源物回収システム構築事業	14,000	27	2,200			2,227	15.9
	焼却灰リサイクル事業の推進	116,000	29,672	29,000			58,672	50.6
	資源リサイクル施設整備事業	462,000	8,408	387,000			395,408	85.6
重点課題合計		14,455,000	2,149,509	4,073,365	0	0	6,222,874	43.0

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主なかい離の理由

23年度	<p>【札幌・エネルギーecoプロジェクト】増:震災後のエネルギー問題への対応として予算増加措置がなされたため。</p> <p>【エコリフォーム促進事業】増:多くの市民ニーズへの対応として追加募集を行ったため。</p> <p>【札幌・サンサンプロジェクト事業】減:札幌中央卸売市場の太陽光発電設置工事について、年度末の工事着工となったため。</p>
24年度	<p>【エコリフォーム促進事業】増:多くの市民ニーズへの対応として予算拡充を行ったため。</p> <p>【木質バイオ燃料普及促進事業】減:当初予定の未利用林地材の地域熱利用支援等は、国や道、企業等の木質バイオ燃料利用に係る状況等を踏まえ、次年度以降の実施を検討するため。</p>
4年間を通して	

政策目標	4	みんなで行動する環境の街				
重点課題	1	低炭素社会の推進と循環型社会の構築				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 環境行動を実践するまちづくり						
温暖化対策に関する実行計画策定・推進事業						
1	温暖化対策に関する実行計画の策定	—	—			策定 (25年度)
さっぽろエコライフ推進事業						
2	エコ診断を行った省エネモニターの世帯数(累計)	—	14世帯			310世帯
3	節電モニターの15%削減達成率	—	57%			80%
省エネ活動サポート事業						
4	サポート事業による事業者の省エネ実施件数(累計)	—	0			30件
札幌省エネアクションプログラム						
5	エネルギー削減支援を行うモデル施設数(累計)	—	—			12施設
エコドライブ活動定着推進事業						
6	エコドライブ啓発者数(講習会などの参加者)	—	591人			2,900人
エネルギーに関する環境教育の推進						
7	環境学習プログラムの作成	—	—			作成
施策2 省エネルギー、再生可能エネルギーの更なる普及促進						
札幌・エネルギーecoプロジェクト						
8	新エネ・省エネ機器導入補助件数(累計)	2,351件	3,715件			10,000件
「札幌版次世代住宅基準」に適合した住宅の普及促進						
9	札幌版次世代住宅基準に適合する補助件数(累計)	—	—			279件
10	札幌版次世代住宅基準に適合するモデル住宅建設戸数(累計)	—	—			16戸
エコリフォーム促進事業						
11	一般住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数(累計)	43戸	181戸			150戸
12	賃貸住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数(累計)	—	4戸			30戸
次世代自動車導入促進事業						
13	次世代自動車の補助台数(累計)	—	105台			900台
地域エネルギーネットワーク推進事業						
14	基本計画策定	—	調査業務実施			策定 (25年度)
札幌・サンサンプロジェクト事業						
15	市有施設の太陽光パネル設置箇所数(学校施設を含む)	62カ所	80カ所			180カ所
学校施設太陽光パネル設置事業						
16	学校施設への太陽光パネル設置校数	46校	56校			151校
再生可能エネルギー推進事業						
17	雪冷熱導入施設数	3施設	3施設			4施設 (24年度)
木質バイオ燃料普及促進事業						
18	木質バイオ燃料機器補助件数(累計)	15件	19件			95件
19	市内における木質バイオ燃料年間使用量	1,400t	1,519t			10,000t
学校への木質バイオ燃料導入事業						
20	木質バイオ燃料を活用した学校での環境教育	—	—			推進
次世代エネルギーパーク推進事業						
21	普及啓発展示スペースの設置箇所数	1カ所	2カ所			3カ所
市設街路灯LED化の推進						
22	生活道路等へのLED街路灯設置基数	3,359基	7,898基			15,000基

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	4	みんなで行動する環境の街					
重点課題	1	低炭素社会の推進と循環型社会の構築					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 省エネルギー、再生可能エネルギーの更なる普及促進							
下水道事業における地球温暖化対策							
23	設備更新時の省エネルギー設備導入によるCO2削減量(対平成22年度比)	—	832t-CO2				1,259t-CO2
24	下水道施設における太陽光パネル設置によるCO2削減量(対平成22年度比)	—	—				4t-CO2
施策3 みんなで進めるごみ排出量の抑制とリサイクルの推進							
一般廃棄物処理基本計画の改定							
25	一般廃棄物処理基本計画の改定	—	—				改定 (25年度)
生ごみ資源化システム実証実験							
26	家庭系生ごみの資源化実証実験の対象世帯数	—	781世帯				3,000世帯
家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業							
27	生ごみ器材の購入助成等を受けた人の生ごみ堆肥化の継続率	80% (21年度)	82%				85%
事業ごみエリア内資源物回収システム構築事業							
28	モデル事業の実施区数	1区	2区				10区
29	分別・リサイクルに取り組む団体に対する補助件数(累計)	—	0件				30件
焼却灰リサイクル事業の推進							
30	焼却灰セメントリサイクル量	117t	782t				1,000t
資源リサイクル施設整備事業							
31	中央卸売市場内の廃棄物排出量	21,942m ³	22,163m ³				10,970m ³

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	4	みんなで行動する環境の街					
重点課題	1	低炭素社会の推進と循環型社会の構築					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
61	環境配慮活動を実践している人の割合	49% (20年度)	56% (23年度)				70% (26年度)
		普及啓発や環境教育などの取組の効果に加え、東日本大震災や原子力発電所の事故を受け、特に節電に対する意識が高まったことが要因と考えられる。					
62	生ごみ減量・リサイクル(水切り減量、堆肥化など)に取り組んでいる世帯の割合	62% (21年度)	86.1% (23年度)				70% (26年度)
		1万世帯を目標として実施した「生ごみ減量・水切り宣言」等、市民力を活用した各種取組の成果が要因と考えられる。					
社会成果指標							
63	温室効果ガスの排出量	1,208万t-CO2 (19年度)	993万t-CO2 (22年度)				1,000万t-CO2 (26年度)
		民生家庭部門における削減が高い比率を占めており、高効率給湯・暖房機器の普及や市民の環境意識の向上が図られたことが大幅に減少した要因と考えられる。					
64	札幌市の事業による温室効果ガスの削減量(累計)	—	3.7万t-CO2 (22年度)				18万t-CO2 (26年度)
		補助制度による高効率給湯・暖房機器や次世代自動車の導入拡大、普及啓発による焼却ごみの削減など、市の取り組みの効果が表れていると考えられる。					
65	年間の新築住宅のうち、地域特性に適した省エネルギー住宅の普及割合	— (22年度)	—				25% (26年度)
66	札幌市が処理するごみのリサイクル率	27.6% (22年度)	27.3% (23年度)				30% (26年度)
		集団資源回収によるリサイクル量は増加したものの、「雑がみ」の収集量が減少したことで、効果が相殺されたと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	4	みんなで行動する環境の街
重点課題	1	低炭素社会の推進と循環型社会の構築
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	環境行動を実践するまちづくり	
23年度の主な取組内容(実績)		
地球温暖化に関する小中学生向けのパンフレットを作成。	家庭の節電を促進する節電キャンペーンを実施するとともに、家庭の省エネ診断員制度の構築と試行実施。	
アイドリングストップ装置等購入補助やエコドライブ計測機器貸出等によるエコドライブ活動の定着を支援。	学校のエネルギー使用量等を計測・表示(見える化)するための設備を整備。	
24年度の主な取組内容(予定)		
温暖化対策実行計画策定のための調査検討を実施。	1万人の市民参加を目指す節電キャンペーンを実施するとともに、家庭の省エネ診断事業を実施。	
6つの市有施設をモデルとした省エネ支援。	アイドリングストップ補助制度の運用や機器貸出等に加え、シミュレーターを活用したエコドライブ講習会を開催。	
エネルギー使用量「見える化」設備整備校の学習内容を踏まえ、他校への効果的な拡大方法について検討。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【さっぽろエコライフ推進事業】市民モニターの取組内容から効果的な省エネや節電方法を収集し、より多くの市民へ周知することで、環境配慮活動を実践するきっかけづくりにつながっている。 【エコドライブ活動定着推進事業】企業内において、従業員の意識改革や燃費の向上等が図られたが、各企業・実態に合わせたよりきめ細やかな支援を行うことで、より多くの参加事業者へエコドライブ活動の定着がなされるよう見直しを図る必要がある。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【温暖化対策に関する実行計画策定・推進事業】国におけるエネルギー政策や温暖化対策の動向を捉えながら、実行計画の調査検討を進めていく。 【エネルギーに関する環境教育の推進】子ども達の省エネ意識を醸成し、家庭・地域に環境配慮行動をひろげるため、学校における効果的な実践的エネルギー学習の拡大について、検討・推進していく。		
施策2	省エネルギー、再生可能エネルギーの更なる普及促進	
23年度の主な取組内容(実績)		
導入コストの高い新エネ・省エネ機器に対する市民への補助を実施。	一般住宅エコ・バリアフリー改修への補助とともに、賃貸住宅にも試験的に補助を実施。	
事業者向けの次世代自動車導入補助を実施。	学校施設を含めた市有施設17カ所に太陽光パネル設置。	
環境負荷軽減のため、生活道路を中心にLED街路灯への交換(4,539基)	下水道における地球温暖化対策推進計画の策定。 下水道施設に高効率の水処理設備を導入。	
24年度の主な取組内容(予定)		
導入コストの高い新エネ・省エネ機器に対する市民への補助を拡充。新たに町内会やNPOに対する補助を実施。	「札幌版次世代住宅基準」に適合した住宅への建設補助を開始。	
一般住宅エコ・バリアフリー改修への補助を継続するとともに、賃貸住宅にも補助を開始。	事業者向けの次世代自動車導入補助に加えて、市民向け補助を開始。	
学校施設を含めた市有施設28カ所に太陽光パネル設置。	円山動物園アジアゾーンヒマラヤ館への雪冷房設備設置工事を完了。	
環境負荷軽減のため、生活道路を中心にLED街路灯への交換(4,000基予定)	下水道施設に高効率の水処理設備等を導入。 下水道科学館に太陽光発電設備を導入。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【札幌・エネルギーecoプロジェクト】予算枠に対し、約1.5倍の応募があり、札幌市内の新エネ・省エネ機器の導入の後押しとなった。 【エコリフォーム促進事業】高齢化社会の進展や環境問題に対応するため、多くの市民が住宅のエコやバリアフリー改修を希望し、23年度の当初見込みを上回る市民要望が寄せられたことから、追加募集を行った。24年度は、より多くの市民要望に対応するため、予算を大幅に拡充した。 【木質バイオ燃料普及促進事業】ペレットストーブ利用モニター調査や利用促進セミナー、催事会場等での普及啓発により、市民、事業者の木質バイオ燃料の利用が進むきっかけとなり、温室効果ガスの排出量の削減に貢献しているが、木質バイオ燃料の更なる利用拡大に向け、効果的な普及啓発手段を検討する必要がある。		

政策目標	4	みんなで行動する環境の街
重点課題	1	低炭素社会の推進と循環型社会の構築
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策2	省エネルギー、再生可能エネルギーの更なる普及促進	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【再生可能エネルギー推進事業】24年度に整備する円山動物園の雪冷房設備をはじめとした再生可能エネルギーの導入促進に努め、今後は、民間事業者への導入を促す取り組みを進めていく。 【下水道事業における地球温暖化対策】23年度に策定した「札幌市下水道における地球温暖化対策推進計画」に基づき、下水道施設の更新時期に合わせた省エネルギー設備の導入を図っていく。		
施策3	みんなで進めるごみ排出量の抑制とリサイクルの推進	
23年度の主な取組内容(実績)		
11月～1月までの3カ月間で、南区内の一部の大規模集合住宅を対象に、生ごみ分別収集・資源化の実証実験を実施。	生ごみ堆肥化に係る一般市民を対象とするセミナーと実践者向けの講座を併せて70回実施。	
札幌狸小路商店街と北24条地区において、地域団体と連携した事業ごみのリサイクル回収を実施。	灰溶融施設の現状把握と焼却灰のセメント資源化に伴う今後の灰溶融施設のあり方についての調査を実施。	
中央卸売市場にて、資源リサイクル方式を策定し、廃棄物集積所増築設計等を実施。		
24年度の主な取組内容(予定)		
廃棄物減量等推進審議会において、「スリムシティさっぽろ計画」の改定に向けた検討を開始。	7月～9月までの3カ月間で、南区内の一部の対象大規模集合住宅を対象に、生ごみの分別収集・資源化の実証実験を実施。	
電動生ごみ処理機購入への助成を開始するとともに、「地域連携型生ごみ堆肥化セミナー」をモデル的に実施。	市内2カ所の商店街において、地域団体と連携した事業ごみのリサイクル回収を実施。	
焼却灰を対象にセメント原料の一部としてリサイクルするための調査実施。	中央卸売市場にて、資源リサイクル施設の建設、稼働。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【生ごみ資源化システム実証実験】実証実験を継続的に行うことにより、市民の生ごみ減量・リサイクル意識・行動への波及効果が期待されることから、生ごみ減量・リサイクルに取り組む世帯の割合の増加に寄与しており、次年度以降の事業規模拡大により、生ごみ減量・リサイクル意識・行動の更なる波及効果も期待できる。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業】電動生ごみ処理機等購入助成等の家庭の生ごみ減量・資源化を支援する施策を継続するとともに、地域における生ごみ堆肥化の取り組み及び堆肥の活用の輪を広げることで、生ごみ堆肥化実践者の輪を広げる支援を行っていく。 【資源リサイクル施設整備事業】札幌中央卸売市場内におけるごみの減量化及びリサイクル化が推進をすることで、札幌市におけるごみのリサイクル率の向上、温室効果ガスの削減、市民や企業の環境意識の向上への波及を図る。		
協働の状況		
【さっぽろエコライフ推進事業】市民が主体的に節電・省エネに取り組むモニターを募集したことで、市全体の節電・省エネを推進した。専門家のアドバイスを受けながら事業を実施し、その結果を市民にわかりやすい内容で広く情報発信した。		
【次世代自動車導入促進事業】自動車関係団体と協調した補助制度や、同団体や販売店などと協働で補助制度説明会、車両展示・試乗会などを実施。		
【生ごみ資源化システム実証実験】南区内の一部の大規模集合住宅の居住者に対し、一定期間、任意で生ごみを分別排出する実証実験への参加を依頼し、自主的な生ごみ分別排出の協力を得た。		